

カリ追肥による玄米中放射性Csの低減効果

福島県農業総合センター 生産環境部環境・作物栄養科

事業名 放射性物質除去・低減技術開発事業

小事業名 放射性物質の吸収量の把握

研究課題名 水稻の放射性物質の吸収量の解明

担当者 齋藤隆・佐藤睦人

I 新技術の解説

1 要旨

一部の地域で収穫された玄米から放射性Csが検出され、放射性Cs吸収を低減する技術開発が喫緊の課題となっている。このため玄米で放射性Csが検出された原因究明を図るとともに、次年度水稻作付のための対策を提案する。

(1) 土壌中の放射性Cs濃度にかかわらず、カリウム追肥を行ったほ場では玄米中放射性Cs濃度が低下した(図1)。

(2) カリウムを追肥したほ場では交換性カリウム含量が高まり、放射性Cs濃度が低下した(図2)。

2 期待される効果

(1) カリウム追肥により玄米中放射性Cs濃度を低減できる。

3 活用上の留意点

(1) 今回試験は交換性カリウムの少ない現地ほ場での結果である。。

Ⅱ 具体的データ等

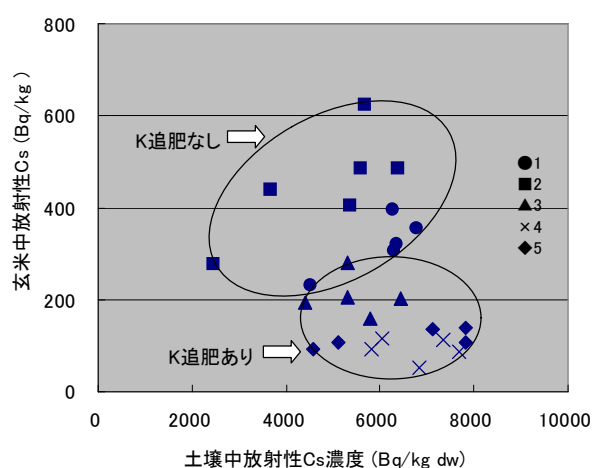


図1 土壤中放射性Csと玄米中放射性Csの関係

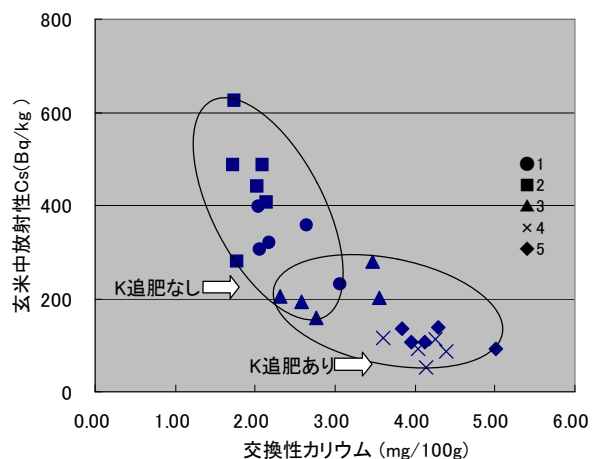


図2 玄米中放射性Csと土壌の交換性カリウムの関係

Ⅲ その他

1 執筆者

齋藤隆

2 実施期間

平成23年度

3 主な参考文献・資料

- (1) 平成23年度農業総合センター試験成績概要
- (2) 日本土壌肥料学会東北支部大会平成24年度青森大会講演要旨集 p9